

# 2016年度教員採用試験 はじまる!!

## どこよりも早い試験速報

いよいよ2016年度教員採用試験がはじまりました。来年受験される皆さんが、まず取り組むべきは、過去問チェックと出題傾向を少しでもつかむことです。7月12日迄に実施された自治体の試験から、どんな傾向が読み取れるのか、教員採用試験の問題を見つけてきた吉田武大先生（関西国際大学准教授）に解説をしていただきました。

教職教養では、学習指導要領、生徒指導、特別支援教育、教育法規からの出題が多いが、こうした傾向は今年度も続いている。

学習指導要領では、例年同様、総則の「1 教育課程編成の一般方針」が頻出であった。

生徒指導では、「生徒指導提要」からの出題があいかわらず多い。特に第1章「生徒指導の意義と原理」や第5章「教育相談」が要注意だ。この他、いじめ防止対策推進法や「体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について（通知）」も頻出である。

特別支援教育では、発達障害に対する指導法、教育課程、通級指導、障害者権利条約など、出題が多様化して

いる。幅広い対策が必要だ。

教育法規では、教育基本法、地方公務員法（服務）、教育公務員特例法（研修）、学校教育法（懲戒）に関する問題が例年と同様によくみられた。

なお、2014年に中央教育審議会答申「道徳に係る教育課程の改善等について」が出されたが、本誌で取り上げた自治体では、答申本文からというよりは、学習指導要領の道徳に関連する部分から出題されているところが多かった。

一般教養では、人文科学、社会科学、自然科学ともにほぼ例年通りの出題であったといえる。

人文科学では、国語、英語からの出題がめだった。国

7月12日迄に実施された試験をすべて掲載！

語では漢字の読み書き、四字熟語、文学作品、現代文読解など幅広い領域から出題されている。英語では会話文と文章読解に関する問題が多かった。

社会科学では時事問題が目立った。また、倫理（近現代の思想）に関する問題も多くみられた。この他には、地理（日本の自然）が比較的多く出題されている。

自然科学では数学からの出題が多い。具体的には、方程式、一次関数、平面図形、空間図形、確率など、幅広い領域から出題されている。この他には、生物（動植物の特徴）、物理（電磁気）、環境（条約や法律）に関する問題もよくみられた。

北海道  
札幌市

青森県

秋田県

岩手県

山形県

宮城県  
仙台市

福井県

石川県

富山県

新潟県  
新潟市

福島県

京都府  
京都市

滋賀県

長野県

群馬県

栃木県

茨城県

奈良県

岐阜県

山梨県

埼玉県

さいたま市

千葉県  
千葉市

三重県

愛知県  
名古屋市

静岡県  
静岡市  
浜松市

神奈川県  
横浜市  
川崎市  
相模原市

東京都

和歌山県

山口県

島根県

鳥取県

兵庫県  
神戸市

広島県  
広島市

岡山県  
岡山市

大阪府  
大阪市  
堺市  
豊能地区

愛媛県

香川県

高知県

徳島県

佐賀県

福岡県  
福岡市  
北九州市

長崎県

大分県

熊本県  
熊本市

宮崎県

鹿児島県

沖縄県

### 2016年度教員採用試験の1次試験日程

※太字の自治体：今月号に試験問題を掲載

6月28日 7月4~5日 7月11~12日 7月18~22日 7月25~26日

試験問題は次ページから >>>